



スズキ、東広島市・広島大学の 「グローバル人材育成支援に関する覚書」に参画

～国際ネットワーク活用と次世代学園都市のまちづくりに向けて自治体・大学・企業が連携～



スズキ株式会社（以下スズキ、本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木 俊宏）は、東広島市（市長：高垣 廣徳）と国立大学法人広島大学（広島県東広島市、学長：越智 光夫）が調印した「グローバル人材育成支援に関する覚書」に、コーポレートパートナーとして参画します。

本日、覚書調印式および広島大学グローバルラーニングセンターの開所式が広島大学キャンパスで開催され、東広島市の高垣 廣徳市長、広島大学の越智 光夫学長、スズキの齊藤 欽司グローバル営業統括参加が出席しました。

本取り組みは、グローバル人材の育成を通じて国際化を推進することを目的としています。

スズキは、インド工科大学出身学生の採用や、子会社 Next Bharat Ventures を通じたインドの社会起業家の支援を行うなど、グローバル人材の育成や社会連携を積極的に推進しています。

広島大学は、外国人留学生が多数在籍する国際色豊かな大学で、世界各国の政府・産業界に多くの卒業生を輩出しています。

本日開所式を行った広島大学グローバルラーニングセンターの開設は、本覚書に基づきスズキが参画する最初の事業であり、スズキは、広島大学が進める世界で活躍できる人材の育成に向けた取り組みで協力していきます。

スズキは今回の取り組みを通じて、地域社会の発展に貢献するとともに、お客様に価値ある製品を届け、社会から必要とされる企業であり続けることを目指します。

以上